



“神戸ならではの特別な時間、を体験できるプログラム

「おとな旅・神戸」

ブラブラまち歩き特別プログラム 第2弾の受付開始！

～お約束は、ワンランク上の“まち感覚、です。～

ブラブラまち歩き特別プログラム第2弾 3/21（火曜）9：30～申し込み受付開始！！

「おとな旅・神戸」実行委員会(神戸市、兵庫県、神戸商工会議所、(一財)神戸国際観光コンベンション協会ほか)は、「神戸らしさ」を存分に堪能できる「特別感」のあるまち歩きや体験といったプログラムを展開する「おとな旅・神戸」の特別プログラムとして「おとな旅・神戸」ブラブラまち歩き特別プラン”第2弾の受付を開始します。

「神戸港はなぜ1300年も良港なのか?」「神戸はなぜ“ハイカラ”なのか?」の2つのお題に沿って、神戸の謎に迫ります。あの人気まち歩き番組でも取り上げられたコースを中心に、テレビでは放送されなかったこぼれ話や裏話もお楽しみいただきます。

完売となった第1弾に続き、第2弾では、神戸の近代化産業遺産でもある「湊川隧道」の内部を特別に見学できるコースや、異人館の通常公開していない部屋を特別に見学できるコースなど、話題満載の6コースをご用意しました。みなさまのお越しをお待ちしております！

1. 開催概要(料金、プログラムの詳細などについては、次ページ以降をご覧ください。)

【ブラブラまち歩き特別プログラム】

神戸はなぜ1300年も良港なのか？

(No.78)～おいしい水のルーツをさぐる 神戸の水編～

(No.79)～兵庫津と西国街道の歴史をたどる 兵庫津編～

ブラブラまち歩き特別プログラム第2弾！ハイカラ文化の謎を紐解くプログラムの数々。当時のスタイルを感じながら、知られざる神戸の歴史やユーモラスな話が聞けるかも。さらに、ミシュラン・グリーンガイドの1つ星を獲得した布引の滝も必見！

神戸はなぜ“ハイカラ”なのか？

(No.80)～日本文化と西洋文化の融合をさぐる 北野異人館編～

(No.81)～不規則に並ぶ“126”の謎の番号をたどる 旧居留地編～

(No.82)～今も残る7mの高低差の謎・近代化産業遺産をさぐる 湊川・新開地編～

(No.83)～日本のスイーツの原点をさぐる 亀井堂總本店編～

2. 参加申し込み方法

「おとな旅・神戸」公式サイトもしくは電話で申し込みください。なお、定員となり次第、締切とさせていただきます。

- 「おとな旅・神戸」公式サイト：<http://kobe-otona.jp/>より申し込み画面にて予約・決済
- 電話(「おとな旅・神戸」運営事務局：078-599-7110にてお申込み(平日9:30から18:00))

3. 申し込み受付開始日

- 2017年3月21日(火曜) 9時30分から

本件リリースに関するお問い合わせ先

「おとな旅・神戸」実行委員会事務局(神戸市経済観光局観光コンベンション課内)
TEL: 078-322-5339 FAX: 078-322-6138

参加申し込みに関するお問い合わせ先

「おとな旅・神戸」運営事務局
TEL: 078-599-7110(平日9:30~18:00) FAX: 078-332-2506

「おとな旅・神戸」公式サイト：<http://kobe-otona.jp/>

開催プログラムラインアップ 1

明治時代の
技術により
守られた
神戸の水

神戸はなぜ1300年も良港なのか？

～おいしい水のルーツをさぐる 神戸の水編～

78

1300年前の奈良時代から「良港」といわれる「神戸港」。先日テレビで放送された、あの『人気まち歩き番組』でも紹介され、神戸が誇る「赤道を越えても腐らない水」。世界中の船乗りたちに愛され、船に欠かせない水なのです！

日本最古の近代水道施設のルーツをめぐり、おいしい水が作られる地形の秘密や、明治時代の先人の想いと知恵によって築かれた水質を守る驚きの仕組みを、番組に出演した松下さんと清水さんが紐解きます。番組では紹介しきれなかったこぼれ話や裏話を聞きながら、通常は入れない重要文化財である布引五本松堰堤や分水堰堤、縮切堰堤も特別にご案内。程よいミネラル量のおいしい水で作った紅茶もお試しいただきます。また、昨年ミシュラン・グリーンガイド一つ星に選ばれた日本三大神滝のひとつ「布引の滝」にも訪れます。



左／布引五本松堰堤
中／縮切堰堤
右／布引の滝

開催日 ■ 4月15日(土)

参加費 ■ 2,000円(布引ロープウェイ片道料金込み)

定員 ■ 30名(最少催行15名)

服装 ■ カジュアル、履きなれた靴

市民アドバイザー ■ 松下 眞 さん(神戸市水道局計画調整課 課長)

清水 武俊 さん(神戸市水道局水質試験所 係長)

行程 ■ 13:00 地下鉄新神戸駅南改札 集合
～徒歩で新神戸駅より[北野浄水場]へご案内～
…布引ロープウェイにて移動…風の丘中間駅で下車
[分水堰堤]
腐らないおいしい水の秘密を松下さんよりご説明
～番組で放映されなかったお話も～
[縮切堰堤]水を汲んで実験により水質を確認
[布引五本松堰堤]…徒歩(約30分)…
[布引の滝]
布引水源の水質の違いを紅茶で飲みくらべ
16:30 新神戸駅周辺にて 解散

神戸繁栄の
歴史をたどる

神戸はなぜ1300年も良港なのか？

～兵庫津と西国街道の歴史をたどる 兵庫津編～

79

テレビの『人気まち歩き番組』で天然の良港と紹介された神戸港。そのルーツは瀬戸内海交通の要衝として発展してきた“兵庫津”にあります。まち歩き番組の案内人で、NHK連続テレビ小説「べっぴんさん」で神戸風俗考証を担当した谷口義子さんが、兵庫津を案内します。平清盛ゆかりの場所や中世、近世の兵庫津の発展の足跡をたどりながら、西国街道や日本三大大仏の兵庫大仏などを訪ねます。また、古地図をもとに、兵庫津の昔の姿を探ります。



兵庫大仏



新川運河

開催日 ■ 4月23日(日)

参加費 ■ 2,600円(トラベルイヤホン付き)

定員 ■ 30名(最少催行15名)

服装 ■ カジュアル、履きなれた靴

市民アドバイザー ■ 谷口 義子 さん

(神戸学院大学非常勤講師[地域学]、

NHK連続テレビ小説「べっぴんさん」神戸風俗考証)

行程 ■ 13:00 JR兵庫駅 集合
～西国街道をたどる～
[蛭子神社(柳原えびす)]、[福海寺]、
[能福寺(兵庫大仏)]、[真光寺]
[清盛塚十三重塔・平清盛像]、
[船大工町と磯之町]
(昔の地名などを古地図で確認)
西国街道が直角に交わる場所
[兵庫津歴史館 岡方倶楽部]
15:00 [兵庫歴史館岡方倶楽部]にて 解散

写真はイメージです。

開催プログラムラインアップ2

日本文化と西洋文化の融合
＝ハイカラ

神戸はなぜ“ハイカラ”なのか？

～日本文化と西洋文化の融合を探る 北野異人館編～

80

神戸がなぜ“ハイカラ”と呼ばれるのか？そのヒントは神戸北野にあります。横浜・長崎になく神戸にあったもの、それは広大な雑居地です。日本人と外国人が混在して居住することが認められた雑居地。西洋の文化と日本の文化が混ざった“ハイカラ”文化の秘密を、あの『人気まちあるき番組』でもガイドをされた小代薫さんが紐解きます。

番組でも歩いたコースを丁寧にめぐり、通常は公開していない[風見鶏の館]の地下室や、屋根裏部屋の特別見学も。ドイツ人F・ビショップの邸宅であった異人館の中国レストラン[東天閣]でのランチもお楽しみに！



風見鶏の館



東天閣

開催日 ■ 4月9日(日)

参加費 ■ 6,600円 (昼食、トラベルイヤホン付き)

定員 ■ 30名(最少催行15名)

服装 ■ カジュアル、履きなれた靴

市民アドバイザー ■ 小代 薫さん

(神戸大学経済経営研究所研究支援推進員[建築史])

行程 ■ 10:00 JR元町駅東口 集合
～トアロードに沿って北野異人館街へ
特徴的な異人館を歩きながらご紹介～
[風見鶏の館]見学
(地下室と屋根裏部屋を特別に見学)
[萌黄の館]見学
[東天閣]にてランチ
14:00 [東天閣]にて解散

謎の番号で
歴史を紐解く

神戸はなぜ“ハイカラ”なのか？

～不規則に並ぶ“126”の謎の番号をたどる 旧居留地編～

81

今年、開港150年を迎えた神戸港。その神戸開港場の中心地だった旧居留地。今も残る明治初期の商館は、全国でも神戸にしか残っていません。西洋の文化と日本の文化が混ざった街なみは、まさに“ハイカラ文化”の象徴と言えます。日本を代表する建築家が設計した大正や昭和初期のオフィスビルも魅力的。150年前に外国人たちが情熱を注いだまちづくりの痕跡も、下水管や公園など、随所に残ります。

それらの痕跡を、あの『人気まちあるき番組』でもガイドをされた小代さんがご案内します。

東洋一美しいと讃えられた「神戸外国人居留地」を、明治5年の居留地絵図を片手にめぐってみませんか？異人館でのランチもお楽しみに！



左: TOOTH TOOTH maison15th
右: 煉瓦造下水道

開催日 ■ 4月16日(日)

参加費 ■ 5,900円 (昼食、トラベルイヤホン付き)

定員 ■ 30名(最少催行15名)

服装 ■ カジュアル、履きなれた靴

市民アドバイザー ■ 小代 薫さん

(神戸大学経済経営研究所研究支援推進員[建築史])

行程 ■ 10:00 阪急[神戸三宮]西改札口1階 集合
生田神社参道<<旧西国街道>>
[神戸市立博物館]～旧居留地復元模型を見学～
レンガ造りで日本最古の西洋式下水道
(明治5年:国指定登録有形文化財)
～居留地の特徴的な建物を歩きながらご紹介～
[TOOTH TOOTH maison15th]にてランチ
[日本真珠会館](昭和27年)
南京町
14:30 南京町にて解散

写真はイメージです。

開催プログラムラインアップ 3

神戸と兵庫を
繋いだ
湊川隧道

神戸はなぜ“ハイカラ”なのか？

～今も残る7mの高低差の謎・近代化産業遺産をさぐる
湊川・新開地編～

82

1300年前より港町として繁栄してきた“兵庫”。開港当時の大都市“兵庫”と“神戸”の境界にあった大きな段差。先日テレビ放送された、あの『人気まち歩き番組』でも取り上げられた謎。そして、新しく開かれた土地に、西日本最大の歓楽地として栄えた街の成り立ち。それらを、番組でも案内した元兵庫県職員(土木)“ダムや川の整備一筋30年！”の佐々木良作さんのご案内します。

プログラムの最後は、近代土木技術を用いた日本最初の河川トンネルとして現代まで残り、神戸の近代化産業遺産でもある「湊川隧道」の内部を特別にご案内します。番組では放送しきれなかったこぼれ話や裏話もお楽しみに！



湊川隧道



湊川公園の高低差

開催日 ■ 4月22日(土)
参加費 ■ 2,600円 (トラベルイヤホン付き)
定員 ■ 40名(最少催行15名)
服装 ■ カジュアル、履きなれた靴
市民アドバイザー ■ 佐々木 良作さん
(湊川隧道保存友の会)

行程 ■ 13:00 市営地下鉄湊川公園駅東改札前口 集合
[湊川公園]
～天井川についての説明～
[新開地2丁目商店街]南側
～新開地の成り立ちを説明～
[湊川隧道](近代化産業遺産)
～湊川の付け替えや隧道の役割・歴史について説明～
15:00 [湊川隧道]入口にて解散

ハイカラ文化
の象徴
瓦せんべい

神戸はなぜ“ハイカラ”なのか？

～日本のスイーツの原点をさぐる 亀井堂總本店編～

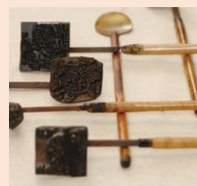
83

開港当時、外国人の雑居地があった神戸には、それまで日本人には馴染みのなかった物や贅沢品が集まりました。高級品の卵、輸入された小麦粉や砂糖と、日本のせんべい焼きの技術が出会って生まれたのが「瓦せんべい」。憧れの西欧文明に接したことのない当時の庶民にとって「瓦せんべい」は、文明開化の香りのする斬新な食べ物で「ハイカラせんべい」とも呼ばれました。

瓦せんべいと同じ材料をオープンで焼き上げると、なんと“あのスイーツ”になるんです！

開港により醸成した神戸のハイカラ文化。神戸がなぜハイカラなのか、その謎に迫ります。あの『人気まち歩き番組』で“神戸のハイカラ文化の象徴”として紹介された亀井堂總本店の「瓦せんべい」。

番組と同じプレゼンターのご案内します。



左:瓦せんべい
中:創業当時の
亀井堂總本店
右:瓦せんべいの焼印

開催日 ■ 5月13日(土)
参加費 ■ 2,800円 (試食、お土産付き)
定員 ■ 20名(最少催行10名)
服装 ■ カジュアル
市民アドバイザー ■ 松井 隆昌さん
(株式会社 亀井堂總本店 5代目見習い)

行程 ■ 10:30 [亀井堂總本店] 集合
創業当時のお話し
～瓦せんべいの誕生・製法など～
職人による実演
～創業当時の手焼き製法で作られる
焼き立てのおせんべいを
お召し上がりいただきます～
食べ比べ
～瓦せんべいと同じ材料で作られた、
あのスイーツと瓦せんべいを食べ比べ～
12:00 [亀井堂總本店]にて解散
※元町商店街のおすすめランチスポットをご紹介します

写真はイメージです。